



横浜市立富岡小学校

# 学校だより1月号



## 新しい年を迎えて

校長 浅野 修一

新年あけましておめでとうございます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、今年も本校教育活動へのご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

今年卯年、「飛躍」と「向上」の年といわれています。コロナ禍が続く中ではありますが、これまでの数年間から大きく「飛躍」し、私たちの生活が大きく「向上」する年になって欲しいものです。昨年11月に横浜市立学校の衛生管理マニュアルが改定され、学校における活動の制限が変更されています。富岡の子どもたちが個々の力を「向上」させ、より大きく「飛躍」できるよう、日々の教育活動に取り組んでまいります。

さて、正月の初夢で縁起がよいとされているものの一番が、世界遺産にも登録されている霊峰富士。二番が鷹、三番が茄子であるとされています。これは、徳川家康が駿河の国（静岡県）にいたときのこと、鷹狩りに出て目の前に富士山がそびえ立ち、畑には茄子（なす）が豊かに実っているのを見て、領地の名物として挙げたことに由来していると言われています。これには他にもいろいろな説があります。例えば、鷹は愛鷹山のこと、富士山に次ぐ山だとか、強力な足で「驚(わし)掴(づか)みにする」からとか。茄子、特に秋茄子は美味しいものでたくさん実をつける（子孫繁栄）から、また、「成(な)す」の意味もあってめでたいものだから、という説などです。いずれにしても初夢で吉凶を占うという風習で、よい夢を見たいと願った江戸庶民が宝船の絵に一富士二鷹三茄子を描いて枕の下に入れて寝たのが始まりとされています。皆様は正月二日の夜はどんな夢をごらんになりましたか？

富岡小学校の子どもたちもきっと素敵な初夢を見たことでしょう。見る夢と合わせ、新しい年を迎え、叶えたい夢（目標・めあて）も決めていることと思います。昨年、夢が達成できた子も残念ながら達成できなかった子も、今年こそはとみんなが思っていることでしょう。12月最後の朝会時に「一年の計は元旦にあり」という言葉を子どもたちに紹介しました。そしてこのお正月に今年1年の目標を立てることを宿題にしています。ご家庭でもその夢について話題にさせていただき、どのような夢であっても子どもたちの意欲を大切に、継続して努力できるように励まし、応援していただければ幸いです。

先日ご協力いただきました保護者学校評価アンケートに、子どもたちの挨拶についてのご意見がありました。校内では挨拶の声が聞かれるのに、校外に出るとなかなか聞かれなくなってしまったとのことでした。学校でも「挨拶あふれる富岡のまち」をめざして、日々声掛けを続けてまいります。大人も子どもも場面に応じた挨拶を交わすことができる、そんな素敵な富岡のまちになるといいですね。

これから寒さも厳しくなり、新型コロナウイルスだけでなくインフルエンザなどの感染症も心配な時期となります。子どもたちが元気に過ごせますよう、日々の健康観察などご家庭の皆様のご協力をお願いいたします。

